

不足単位を補う場合の履修案内

山口大学学務部教務課

平成14年度入学者について

1. 平成14年度入学者への留意事項

(1) 平成14年度入学者の履修について

各学部の履修の手引及び入学時に配付された共通教育履修案内より、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照して、履修計画をたててください。

(2) コースカリキュラム・マトリックス表の変更について

所属する学部によっては、各学部の履修の手引に記載されているコースカリキュラム・マトリックス表に変更がある場合があります。原則として、コースカリキュラム・マトリックス表については、常に最新のものを適用していきます。詳細につきましては、所属する学部の教務担当係の指示に従って、履修してください。

(3) クラス指定について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがありますが、このクラス指定とは、平成15年度入学者の履修要件に基づき指定されていますので、クラス指定によらず履修(TOEIC準備を除く。)することができます。

2. 平成14年度入学者への読替表

(1) 平成14年度入学者への読替表とは

以下に記載されている平成14年度入学者への読替表とは、平成15年度入学者適用の授業科目の単位を修得することにより、平成14年度入学者適用のどの分野のどの授業科目の単位に読み替えられるか、一覧表にしているものです。

学生のみなさんは、自分の単位修得状況とこの平成14年度入学者への読替表を照らし合わせながら、共通教育の不足単位を修得していきます。

(2) 平成14年度入学者への読替表

平成14年度入学者への読替表については、以下のとおりとなっていますので、履修の際には、留意してください。

平成15年度入学者適用				平成14年度入学者適用			
系列	分野	授業科目	単位数	系列	分野	授業科目	単位数
応用科学	応用科学	デザイン工学入門	2	応用科学	応用科学	デザイン科学	2
初期教育	日本事情	日本事情中級	2	初期教育	日本事情	日本事情C	2
		日本事情上級	2			日本事情D	2
外国語教育	日本語	日本語中級	1	外国語教育	日本語	日本語 - A	1
						日本語 - B	1
		日本語上級	1	外国語教育	日本語	日本語 - A	1
						日本語 - B	1
専門日本語	1	外国語教育	日本語	日本語 - A	1		
				日本語 - B	1		

新課程における授業科目の単位を修得すれば、旧課程のいずれか1つの授業科目に読み替えることができる。

・旧課程の学生(平成13年度以前入学者)について

1. 旧課程の学生(平成13年度以前入学者)への留意事項

(1) 旧課程の学生の履修について

各学部の履修の手引及び入学時に配付された共通教育履修の手引きにより、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照して、履修計画をたててください。

(2) 旧課程への読替表とは

この履修案内に記載されている旧課程への読替表とは、新課程の授業科目の単位を修得することにより、旧課程のどの分野のどの授業科目の単位に読み替えられるか、一覧表にしているものです。

学生のみなさんは、自分の単位修得状況とこの旧課程への読替表を照らし合わせながら、共通教育の不足単位を修得していきます。

(3) クラス指定について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがありますが、このクラス指定とは、新課程の履修要件に基づき指定されているので、旧課程への読み替え対応する授業科目については、クラス指定によらず履修(TOEIC準備を除く。)することができます。

2. 英語の不足単位を補う場合の留意事項

(1) 英語の不足単位の補いについて

吉田キャンパス及び常盤キャンパスにおいて、**基礎英語(再)**を開設します。この授業科目の単位を修得することにより、過去の年次の前期または後期のいずれかの基礎英語の不足単位を補うことができます。

なお、新課程の履修要件に基づき、不足単位として補うことができる単位数については、1年次及び2年次に配当されている英語の単位数のうちの不足単位数を上限とします。従って、工学部の3年次以上の学生を対象とする英語の不足単位については、3年次以上の学生対象の所定のクラスの授業を履修し、不足単位を補うことができます。

(2) 新課程の履修による英語の不足単位の補いについて

新課程の英語のカリキュラムに基づいて履修することにより、英語の不足単位を補うことができます。その場合には、新課程の学生と同様に、新課程の履修要件に従って、前期の『**TOEIC準備**』から順に履修してください。ただし、新課程と旧課程との間には、単位数の換算方法に違いがあるため、授業科目ごとに読み替え関係を指定しません。不足単位の補いについては、**旧課程の不足単位数を新課程の単位数を充足することによって、充足することができます。**

なお、新課程の履修要件に基づき、不足単位として補うことができる単位数については、1年次及び2年次に配当されている英語の単位数のうちの不足単位数を上限とします。

(3) 英語の履修のための授業科目の紹介

新課程の英語の授業科目のうち、不足単位を補う場合において、単位数に算入できる授業科目については、次ページのとおりとなっています。

なお、科目タイプの包括及び基礎の各授業科目における履修対象者、授業内容及び成績評価の概要を示していますので、自分自身の英語の勉強の履修計画をつくる際の参考にしてください。展開1及び展開2の授業科目については、一定のTOEICスコアをクリアした不足単位のある学生のみ、履修することができます。展開1及び展開2の授業科目における授業内容等については、共通教育シラバスを参照にしてください。

英語の授業科目一覧表

分野	授 業 科 目	設 置	科目類型	単位数
英 語	TOEIC準備	共通	包括	1
	TOEIC指導	共通	基礎	1
	英語基礎〔1〕	共通	基礎	1
	英語基礎〔2〕	共通	基礎	1
	TOEIC認定400	共通	総説	0
	実践総合英語	共通	展開2	2
	Comprehensive English(By Native Speakers[1])	共通	展開2	2
	Comprehensive English(By Native Speakers[2])	共通	展開1	2
	英語リーディング	共通	展開1	2
	英語ライティング	共通	展開1	2
	英語特別演習	共通	展開1	2
	TOEIC認定500(TOEF L450)	共通	展開1	2
	TOEIC認定600(TOEF L500)	共通	展開1	2

TOEIC準備(1単位)〔包括〕: 前期クォーター1

対 象 1年生全員(クラス指定, クラス規模: 40名程度)

授業内容 開講するすべてのクラスにおいて, 統一シラバスを使用により授業内容を統一した授業です。統一テキスト(『速習TOEICテスト トータルトレーニング』)を使用し, TOEICテストに関するオリエンテーションとTOEICテストを実際に受験します。英語の学習の習慣付けを行いながら, みなさんの能力を最大限に発揮して, 高いスコアを獲得できるように, TOEICテストの出題形式及び出題内容に関する指導を行います。課題については, CDを聴きながら行う自習課題(指定ノート)が, 5週間 - 通算30日にわたり課されます。それは, TOEICテストで最初の45分100問の Listening Section に対応できるだけのリスニング力をつけること及び毎日の英語学習を行う習慣を形成するために課されているのです。最初の45分を乗り切って, さらに気力の充実している人が, TOEICテストを克服する秘訣です。この授業の目的と意義とを理解して, 自分自身の目標のスコアを設定して, できるだけ多くの学生のみなさんが, 400点以上クリアできるように努力してくれることを望みます。

成績評価 出席 + 自宅学習課題(「自習課題ノート」提出状況), 担当者からのその他の課題により評価します。ただし, 2回以上(欠席届による公欠を含む。)欠席した学生の成績については, 『不合格』となります。

TOEIC指導(1単位)〔基礎〕: 前期クォーター2以降, 前期または後期の各クォーター

対 象 TOEICスコア300点未満の学生(クラス規模: 20名程度)

授業内容 6月の共通教育英語部会主催のTOEICテストにより, スコアが300点を超えることができなかった学生に対して, 300点以上(願わくは, 400点以上)を目指す特訓クラスです。TOEIC準備に引き継いで, TOEIC受験のノウハウを指導し, TOEICテストのための学習を確実なものとするための授業です。それぞれの担当教官の様々な工夫によって, 重点的な強化法に基づく指導を行っていくことがあります。対象となる学生は, 300点をクリアするまで繰り返し受講することになります。共通教育シラバスを見ると, どの担当教官が何をどこまで指導するか, どのような経緯により指導されるか, よく分かります。担当教官の記載内容こうしたことを踏まえて担当教官を選択してください。

なお, 工学部夜間主コースの学生については, 工業英語3級とTOEICの300点とを同等に見なし, 単位認定を受けることができます。

内容例 受講者は、自分自身のノートパソコンを使用して、TOEICテストのためのコンピュータ教材 NetAcademy の初級・中級コースについて、7週間の期間にそのすべてをやり遂げる授業を行う担当教官もいます。この授業においては、受講者は、ノートパソコンを所持し、学内LANを利用できる学生に限られますが、LANの接続の方法等を知らなければ、その指導も行います。当然、学内LANを使用した、学内における自習を求められます。

成績評価 成績評価については、以下のいずれかの方法により行われますが、いずれの評価方法を採用するかについては、担当教官の判断によります。ただし、いずれの評価を採用したとしても、TOEICのスコアの300点をクリアしないと、『不合格』となります。

-) TOEICテストのスコアにより評点を算出し評価する方法
-) 担当教官から指定された作業や課題により評価する方法
-))及び)の折衷により評価する方法

英語基礎〔1〕(1単位)及び英語基礎〔2〕(1単位)〔基礎〕:後期

対象 TOEICスコア400点未満の学生(クラス規模:40名程度)

授業内容 基本的な文法の理解及び語彙力の強化することが、この授業の目的です。

開講するすべてのクラスにおいて、統一シラバスを使用により授業内容を統一した授業です。統一テキスト(『英語基礎』)を使用し、文法の基本事項の総まとめ及び練習問題による知識の定着を目指します。この授業の受講者に対しては、自宅学習の課題として、単語学習、各課の内容の予習と練習問題の予習を“毎回”課します。授業においては、各課の文法事項の説明及び自習課題の確認、その内容に関する担当教官の独自の小テスト、授業時間の終わりに実施するその課のテストを行っていきます。担当教官によっては、テスト終了後に直ちに採点(翌週の授業の際に返却される場合もあります。)し、解答及び解説をしていきます。また、テキスト巻末の単語集から出題する単語テストについても、併せて実施されます。この授業を履修することによって、基本的な文法力と単語力をしっかり身に付けてください。当然のことですが、予習を怠ってしまうと、この授業の目的及び意義も損なわれてしまいます。

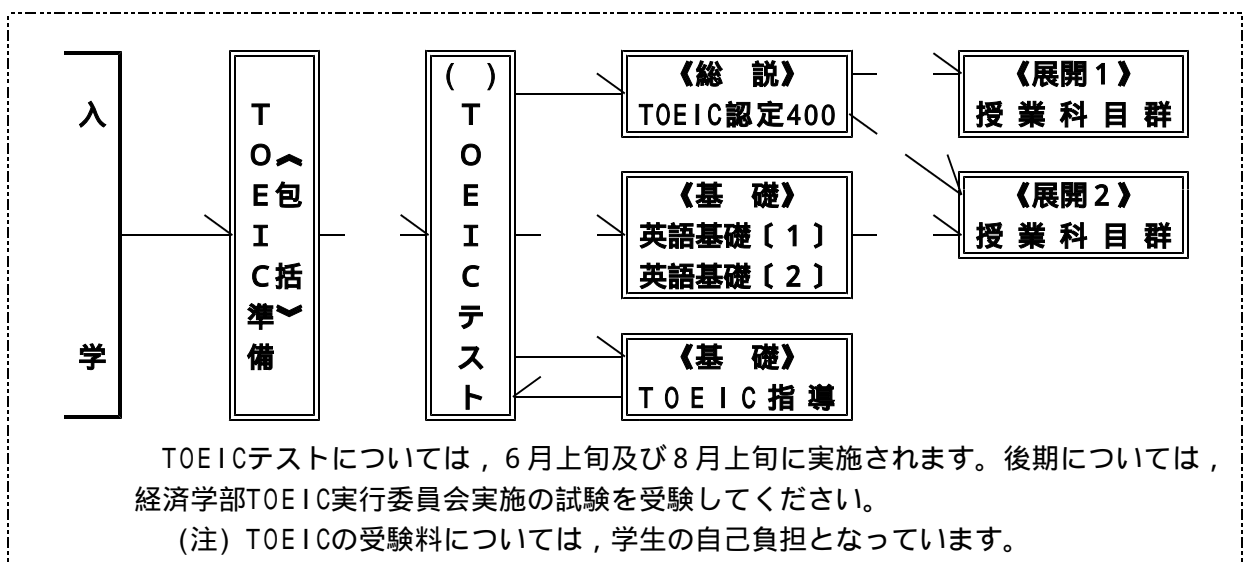
成績評価 以下の算出方法に基づいて、1000点満点により評価します。

(各課のテスト:100点×7回)+(単語テスト:40点×5回)+(担当教官の裁量点:100点)

(4) 英語の単位修得の仕組みについて

英語のカリキュラムにおける単位修得の仕組みについては、以下の図のように示されます。

なお、TOEICテストの日程及び受験手続等については、掲示等により指示しますので、特に留意しておいてください。



学生は、前期クォーター1において、指定クラスのTOEIC準備を履修し、6月上旬のTOEICを受験すれば、TOEIC準備(必修)の単位(1単位)について、そのスコアとは関係なく、授業態度と課題の成果に基づき評価し、単位を授与します。

TOEICのスコアが400点に到達した学生については、TOEIC認定400の認定を受け、単位認定の申請の際に未修得の基礎の授業科目の単位(3単位)をすべて認定します。

TOEICのスコアが300点に到達した学生については、TOEIC指導の単位(1単位)を認定し、続いて英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕を履修することになります。

なお、英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕を履修しながら、TOEICテストを受験することができます。その時点において、TOEICのスコアが400点に到達した学生については、履修中の英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕の単位を認定します。ただし、TOEICのスコアが400点に到達しなかった学生については、引き続き英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕を履修してください。

TOEICのスコアが300点に到達しない学生については、スコアをクリアするまで、TOEIC指導の単位を修得することができませんので、繰り返しTOEIC指導を履修してください。

なお、TOEIC指導と英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕については、並行して履修することができます。

に該当する学生については、展開1及び展開2の授業科目から選択して、履修することができます。ただし、授業科目の内容及びレベルを考慮すると、展開1の授業科目から選択して、履修することを薦めます。

に該当する学生のうち、英語基礎〔1〕及び英語基礎〔2〕の単位を修得した学生については、展開2の授業科目群から選択して、履修することができます。展開1の授業科目群から選択して、履修することはできません。

(5) クォーター2におけるTOEIC指導の履修登録

前期または後期クォーター2におけるTOEIC指導の履修登録については、前期または後期の学期の始めに提出する履修届については、記入する必要はありません。前期または後期クォーター1において受験したTOEICテストのスコアにより、前期または後期クォーター1の授業の終了後の所定の期間に、教務課共通教育係において、履修登録を行ってください。

なお、前期または後期クォーター2のTOEIC指導の1単位については、履修科目の登録の上限単位数に含まれません。

(6) 単位認定の取り扱いについて

TOEICによる単位認定を申請する学生については、TOEICのスコアシートを持参して、教務課共通教育係にある『TOEICによる共通教育単位認定申請書』を記入し、教務課共通教育係に申請してください。認定された授業科目の単位については、申請した学期の単位として認定されますので、授業科目の履修の選択する際における科目類型の効果については、申請した学期の翌学期から、反映されることとなります。

(7) TOEFLの換算について

TOEFLを受験した学生については、TOEFLのスコアシートを添付し申請することにより、TOEICのスコアに換算して、以下の授業科目の単位を認定することができます。詳細については、教務課共通教育係に問い合わせてください。

分野	授 業 科 目	設 置	科目類型	単位数	認 定 条 件 ス コ ア	
					T O E F L	C B T
英 語	TOEIC認定400	共通	総説	0	4 3 5	1 2 0
	TOEIC認定500(TOEFL450)	共通	展開1	2	4 5 0	1 3 0
	TOEIC認定600(TOEFL500)	共通	展開1	2	5 0 0	1 7 3

3. 初習外国語の不足単位の補う場合の留意事項

(1) ドイツ語の不足単位の補う場合の留意事項

ドイツ語 または **ドイツ語** の不足単位の補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程のドイツ語入門1またはドイツ語入門2により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、ドイツ語入門2により補うことができます。

ドイツ語 または **ドイツ語** の不足単位の補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程のドイツ語会話1またはドイツ語会話2により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、ドイツ語会話2により補うことができます。

速修クラスとして開設されていた**ドイツ語 +** の不足単位の補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程のドイツ語入門1とドイツ語会話1またはドイツ語入門2とドイツ語会話2の単位を併せて修得することにより補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、ドイツ語入門2とドイツ語会話2の単位を併せて修得することにより補うことができます。

なお、小串キャンパスにおいては、ドイツ語の開講を予定していません。ドイツ語の不足単位の補う場合には、吉田キャンパスにて履修してください。

(2) フランス語の不足単位の補う場合の留意事項

フランス語 の不足単位の補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程のフランス語入門1により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、フランス語入門2により補うことができます。

フランス語 または **フランス語** の不足単位の補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程のフランス語会話1により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、フランス語会話2により補うことができます。

なお、常盤キャンパス及び小串キャンパスにおいては、フランス語の開講を予定していません。フランス語の不足単位の補う場合には、吉田キャンパスにて履修してください。

(3) 中国語の不足単位の補う場合の留意事項

中国語初級会話、**中国語初級読本**、**中国語初級総合**の不足単位の補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の中国語入門1または中国語入門2により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、中国語入門2により補うことができます。

なお、小串キャンパスにおいては、中国語の開講を予定していません。医学部保健学科の学生については、常盤キャンパスにおいて開講される新課程の中国語入門1または中国語入門2により、中国語初級会話、中国語初級読本の不足単位の補ってください。

(4) ハンゲルの不足単位の補う場合の留意事項

ハンゲル の不足単位の補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程のハンゲル入門1により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、ハンゲル入門2により補うことができます。

ハンゲル の不足単位の補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程のハンゲル初級会話1により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、ハンゲル初級会話2により補うことができます。

なお、常盤キャンパス及び小串キャンパスにおいては、ハンゲルの開講を予定していません。ハンゲルの不足単位の補う場合には、吉田キャンパスにて履修してください。

(5) 不足単位の補う場合の単位数等

初習外国語の不足単位の補う場合の単位数については、入学年度に規定された単位数となりますので、留意してください。

4．教養外国語における不足単位を補う場合の留意事項

(1) 教養英語の不足単位を補う場合の留意事項

吉田キャンパス及び常盤キャンパスにおいて、**教養英語(再)**を開設します。この授業科目の単位を修得することにより、過去の年次の前期または後期のいずれかの教養英語の不足単位を補うことができます。

また、TOEICテストにより、**スコア500点以上**の学生については、TOEICによる共通教育科目単位認定申請書を提出することにより、TOEICスコアに基づいて、教養英語の単位を認定することができます。ただし、認定される単位数については、教養英語の不足単位数を上限とします。

(2) 教養ドイツ語・教養フランス語・教養中国語・教養ハングルの不足単位を補う場合の留意事項

吉田キャンパスにおいては、**教養ドイツ語**については、新課程のドイツ語中級1またはドイツ語中級2、**教養フランス語**については、新課程のフランス語中級1またはフランス語中級2、**教養中国語**については、新課程の中国語中級1または中国語中級2、**教養ハングル**については、ハングル中級1またはハングル中級2の単位を修得することにより、**前期または後期の区分に関係なく**、過去の年次の不足単位を補うことができます。

なお、常盤キャンパスにおいては、教養ドイツ語及び教養中国語を開設していますので、当該授業科目を履修し、不足単位を補うことができます。ただし、教養フランス語及び教養ハングルの不足単位を補う場合には、吉田キャンパスにて履修してください。

旧課程への読替表(平成13年度以前入学者)

新課程(平成15年度以降入学者)				旧課程(平成13年度以前入学者)				備考		
系列	分野	授業科目	単位数	区分		授業科目	単位数			
人文科学	哲学	哲学	2	分野別科目	人文科学分野	哲学	2	注1		
					分野別科目	人文科学分野	論理学		2	
	倫理学	倫理学	2	分野別科目	人文科学分野	倫理学	2	注1		
		生命倫理学	2	分野別科目	人文科学分野	東洋文化論	2			
	歴史学	日本史	2	分野別科目	人文科学分野	日本史	2			
		東洋史	2	分野別科目	人文科学分野	東洋史	2			
		西洋史	2	分野別科目	人文科学分野	西洋史	2			
	宗教学	宗教学	2	主題別科目		思想と文化	2			
	心理学	心理学	2	分野別科目	社会科学分野	心理学	2			
	文学	日本文学	2	分野別科目	人文科学分野	日本文学	2			
		漢文	2	分野別科目	人文科学分野	漢文	2			
		外国文学	2	分野別科目	人文科学分野	外国文学	2			
	言語学	言語学	2	分野別科目	人文科学分野	国語学	2			
	芸術	芸術史	2	分野別科目	人文科学分野	美術	2	注1		
		芸術概論	2	分野別科目	人文科学分野	音楽	2			
		芸術実践	2	分野別科目	人文科学分野	美術	2			
			分野別科目	人文科学分野	音楽	2				
社会科学	法学	法学	2	分野別科目	社会科学分野	法学	2			
		日本国憲法	2	分野別科目	社会科学分野	日本国憲法	2			
	政治学	政治学	2	分野別科目	社会科学分野	政治学	2			
	経済学	経済学	2	分野別科目	社会科学分野	経済学	2			
	社会学	社会学	2	分野別科目	社会科学分野	社会学	2			
	地理学	地理学	2	分野別科目	社会科学分野	地理学	2			
	民俗学	民俗学	2	分野別科目	社会科学分野	民俗学	2			
	文化人類学	文化人類学	2	分野別科目	社会科学分野	文化人類学	2			
	教育学	教育学	2	分野別科目	社会科学分野	教育学	2			
	情報学	情報メディア論	2	主題別科目		社会と組織	2			
	産業倫理	産業倫理	2	主題別科目		社会と組織	2			
	ベンチャービジネス論	ベンチャービジネス論	2	主題別科目		社会と組織	2			
	社会科学総合	社会科学概論	2	分野別科目	社会科学分野	社会科学概論	2			
	自然科学	自然科学入門	数学入門1	1					読替なし	
数学入門2			1					読替なし		
物理学入門1			1	理系基礎科目	入門講義	物理学入門	2	注2		
物理学入門2			1							
化学入門1			1	理系基礎科目	入門講義	化学入門	2	注2		
化学入門2			1							
数学		数学	数学	2	分野別科目	自然科学分野	数学A	2	注3	
					理系基礎科目	基礎講義	基礎数学	2		
		数学	数学	数学	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎数学	2	注3
						分野別科目	自然科学分野	数学B	2	
						理系基礎科目	基礎講義	基礎数学	2	
						理系基礎科目	基礎講義	基礎数学	2	
物理学		物理学	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎物理学	2			
		物理学	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎物理学	2			
化学		化学	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎化学	2			
		化学	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎化学	2			
生物学		生物学	2	分野別科目	自然科学分野	生物学A	2	注3		
				理系基礎科目	基礎講義	基礎生物学	2			
生物学		生物学	生物学	2	分野別科目	自然科学分野	生物学B	2	注3	
					理系基礎科目	基礎講義	基礎生物学	2		
地球科学		地球科学	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎地球科学	2			
		地球科学	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎地球科学	2			
自然科学概論	数学概論	2	分野別科目	自然科学分野	数学	2				
	現代物理学総説	2	分野別科目	自然科学分野	物理学	2				
	現代化学総説	2	分野別科目	自然科学分野	化学	2				
	現代生物学総説	2	分野別科目	自然科学分野	生物学	2				
自然科学の考え方	数学の考え方	1					読替なし			
	物理学の考え方	1					読替なし			
	化学の考え方	1					読替なし			
	生物学の考え方	1					読替なし			
	地球科学の考え方	1					読替なし			
自然科学実験	自然科学実験	2					読替なし			
	物理学実験A	2	理系基礎科目	基礎実験	物理学実験	2				
	物理学実験B	1	理系基礎科目	基礎実験	物理学基礎実験	1				
	化学実験A	2	理系基礎科目	基礎実験	化学実験	2				
	化学実験B	1	理系基礎科目	基礎実験	化学基礎実験	1				
	生物学実験	2	理系基礎科目	基礎実験	生物学実験	2				
地球科学実験	2	理系基礎科目	基礎実験	地球科学実験	2					

旧課程への読替表(平成13年度以前入学者)

新課程(平成15年度以降入学者)				旧課程(平成13年度以前入学者)				備考
系列	分野	授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数		
応用科学	統計学	社会科学のためのやさしい統計学	2	分野別科目	社会科学分野	統計学	2	
		理工学のための統計学	2	分野別科目	社会科学分野	統計学	2	
		医学のための統計学	2	理系基礎科目	基礎講義	基礎数学	2	
	情報処理概論	情報処理概論	2	分野別科目	応用科学分野	情報処理概論	2	
		医療福祉	介護論	1	医療技術系基礎科目	基礎講義	介護論	1
	福祉ボランティア論		2	医療技術系基礎科目	基礎講義	福祉ボランティア論	2	
	社会福祉学		2	医療技術系基礎科目	基礎講義	社会福祉学	2	
	発達心理学		2	医療技術系基礎科目	基礎講義	発達心理学	2	
	医療心理学		2	医療技術系基礎科目	基礎講義	医療心理学	2	
	応用科学	科学史	2	分野別科目	自然科学分野	科学史	2	
		技術概論	2	分野別科目	応用科学分野	技術概論	2	
		技術史	2	主題別科目		自然と科学	2	
		生命科学概論	2	分野別科目	応用科学分野	生命科学概論	2	
		環境学	2	分野別科目	応用科学分野	環境学	2	
		人間環境論	2	主題別科目		環境と人間	2	
		気象学概論	2	主題別科目		環境と人間	2	
		社会と医療	2					読替なし
		デザイン工学入門	2	分野別科目		美術	2	
		スポーツ医学	2	主題別科目		健康とスポーツ	2	
		運動健康科学	2	分野別科目	応用科学分野	運動健康科学	2	
スポーツ運動実習		1	分野別科目	応用科学分野	スポーツ運動実習	1		
初期教育		フレッシュマンセミナー(新入生合宿)	0					読替なし
	基礎セミナー	2	初期教育科目		基礎セミナー	2		
教育	情報処理	情報処理演習	2	初期教育科目	情報処理	2		
	日本事情	日本事情中級	2	初期教育科目	日本事情C	2	注4	
		日本事情上級	2	初期教育科目	日本事情E	2	注4	
				初期教育科目	日本事情F	2		
外国語	英語	TOEIC準備	1	基礎外国語科目	英語	英語	注6	
		TOEIC指導	1					
		英語基礎〔1〕	1					
		英語基礎〔2〕	1					
		TOEIC認定400	0					
		実践総合英語	2					
		Comprehensive English(By Native Speakers[1])	2					
		Comprehensive English(By Native Speakers[2])	2					
		英語リーディング	2					
		英語ライティング	2					
	英語特別演習	2						
	TOEIC認定500(TOEFL450)	2	教養外国語科目	教養英語	教養英語	注7		
	TOEIC認定600(TOEFL500)	2						
	経済英語1	2	教養外国語科目	教養英語	教養英語(経済)	2		
	経済英語2	2	教養外国語科目	教養英語	教養英語(経済)	2		
医学英語1	4					読替なし		
医学英語2	2					読替なし		
医療英語	医療英語	2	医療技術系基礎科目	基礎外国語	医療英語	2		
	基礎医療英会話	2	医療技術系基礎科目	基礎外国語	基礎医療英会話	2		
	医療英会話	2	医療技術系基礎科目	基礎外国語	医療英会話	2		
初習外国語入門	ドイツ語入門1		2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語(前期)	1	注4
			2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語(前期)	1	
	ドイツ語入門2		2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語(前期または後期)	1	注4
			2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語(前期または後期)	1	
	フランス語入門1		2	基礎外国語科目	フランス語	フランス語(前期)	1	
			2	基礎外国語科目	フランス語	フランス語(後期)	1	
	中国語入門1		2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級会話(前期)	1	
			2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級読本(前期)	1	注4
			2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級総合(前期)	1	
			2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級会話(前期または後期)	1	
中国語入門2		2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級読本(前期または後期)	1	注4	
		2	基礎外国語科目	中国語	中国語初級総合(前期または後期)	1		
ハングル入門1		2	基礎外国語科目	ハングル	ハングル(前期)	1		
		2	基礎外国語科目	ハングル	ハングル(後期)	1		
ドイツ語	ドイツ語初級1		4					読替なし
			4					読替なし
	ドイツ語会話1		2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語(前期)	1	注4
			2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語(前期)	1	
	ドイツ語会話2		2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語(前期または後期)	1	注4
			2	基礎外国語科目	ドイツ語	ドイツ語(前期または後期)	1	
	ドイツ語中級1	2	教養外国語科目	教養ドイツ語	教養ドイツ語(前期または後期)	2		
	ドイツ語中級2	2	教養外国語科目	教養ドイツ語	教養ドイツ語(前期または後期)	2		

旧課程への読替表(平成13年度以前入学者)

新課程(平成15年度以降入学者)				旧課程(平成13年度以前入学者)				備考
系列	分野	授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数		
外国語教育	フランス語	フランス語初級1	4				読替なし	
		フランス語初級2	4				読替なし	
		フランス語会話1	2	基礎外国語科目	フランス語	フランス語(前期)	1	注4
				基礎外国語科目	フランス語	フランス語(前期)	1	
		フランス語会話2	2	基礎外国語科目	フランス語	フランス語(後期)	1	注4
			基礎外国語科目	フランス語	フランス語(後期)	1		
	フランス語中級1	2	教養外国語科目	教養フランス語	教養フランス語(前期または後期)	2		
	フランス語中級2	2	教養外国語科目	教養フランス語	教養フランス語(前期または後期)	2		
	中国語	中国語初級1a	2					読替なし
		中国語初級1b	2					読替なし
		中国語初級2a	2					読替なし
		中国語初級2b	2					読替なし
		中国語初級会話1	2					読替なし
		中国語初級会話2	2					読替なし
		中国語中級1	2	教養外国語科目	教養中国語	教養中国語(前期または後期)	2	
		中国語中級2	2	教養外国語科目	教養中国語	教養中国語(前期または後期)	2	
		中国語中級会話1	2					読替なし
		中国語中級会話2	2					読替なし
	中国語閲読1	2					読替なし	
	中国語閲読2	2					読替なし	
ハンガール	ハンガール初級1	4					読替なし	
	ハンガール初級2	4					読替なし	
	ハンガール初級会話1	2	基礎外国語科目	ハンガール	ハンガール(前期)	1		
	ハンガール初級会話2	2	基礎外国語科目	ハンガール	ハンガール(後期)	1		
	ハンガール中級1	2	教養外国語科目	教養ハンガール	教養ハンガール(前期または後期)	2		
ハンガール中級2	2	教養外国語科目	教養ハンガール	教養ハンガール(前期または後期)	2			
日本語	日本語中級	1	基礎外国語科目	日本語	日本語	1		
	日本語上級	1	基礎外国語科目	日本語	日本語	1		
	専門日本語	1	基礎外国語科目	日本語	日本語	1		
主題	思想と文化	2	主題別科目		思想と文化	2		
	芸術と表現	2	主題別科目		芸術と表現	2		
	社会と組織	2	主題別科目		社会と組織	2		
	環境と人間	2	主題別科目		環境と人間	2		
	自然と科学	2	主題別科目		自然と科学	2		
	健康とスポーツ	2	主題別科目		健康とスポーツ	2		
	一般	一般総合	2	総合科目		総合科目	2	
		4	総合科目(医療環境論)		総合科目(医療環境論)	4		
		4	総合科目(医療環境論)		総合科目(医療環境論)	4		
		2	総合科目(知的財産権論)		総合科目	2		

(注1) 授業科目の読み替えについては、講義のテーマに基づき、以下のとおり読み替えるものとする。

〔哲学〕前期の木曜日5・6時限に開講する哲学(脳條)については、論理学に読み替えるものとし、これ以外の開設科目については、哲学に読み替えるものとする。

〔倫理学〕後期の火曜日3・4時限に開講する倫理学(柏木)については、東洋文化論に読み替えるものとし、これ以外の開設科目については、倫理学に読み替えるものとする。

〔芸術実践〕前期の金曜日7・8時限に開講する芸術実践(吉賀)については、美術に読み替えるものとする。

後期の木曜日7・8時限に開講する芸術実践(野波)については、音楽に読み替えるものとする。

(注2) 新課程における両方の授業科目の単位を修得すれば、旧課程の対応科目に読み替えることができる。

(注3) 授業科目の読み替えについては、講義の対象クラスに基づき、以下のとおり読み替えるものとする。

〔数学〕及び〔数学〕理学部数理科学科を対象クラスとするものについては、基礎数学及び基礎数学に、医学部医学科を対象クラスとするものについては、数学A及び数学Bに読み替えるものとし、その他の学部及び学科等を対象クラスとするものについては、基礎数学及び基礎数学に読み替えるものとする。

〔生物学〕及び〔生物学〕医学部医学科を対象クラスとするものについては、生物学A及び生物学Bに読み替えるものとし、その他の学部及び学科等を対象クラスとするものについては、基礎生物学及び基礎生物学に読み替えるものとする。

(注4) 新課程における授業科目の単位を修得すれば、旧課程のいずれか1つの授業科目に読み替えることができる。

(注5) 英語の不足単位を補う場合には、原則として、TOEIC準備から履修しなければならない。

(注6) 英語の不足単位を補う場合の単位数については、新課程の単位数を旧課程の単位数に適用するものとする。

(注7) TOEICテストにより、スコア500点をクリアした学生については、教養英語の不足単位を補うことができる。